

## 人を理解することの難しさと豊かさ

校長 高橋 秀吉

「あなたは、どんな人ですか？」と他者から言われて、的確かつ明解に答えられるでしょうか。職業や年齢、学年ならば答えを返すことは難しくないかもしれません。けれども、性格や考え方、生き方、価値観あるいはちょっとしたせや無意識の習慣などを含めて、自分のことを分かっているでしょうか。自分のことが見えているでしょうか。これは難しいことです。例えば、自分の背中は鏡を使えば見ることができませんが、直接見ることはできません。他者からはいつも背中は見えていますが...

ところで、学校の本質は「人が集まって一緒に学ぶところ」だと私は思います。もちろん学びの中心は教科学習ですが、生徒たちは教科以外にも学校行事や部活動、友だちとの人間関係、教師とのふれあいの中から、多くのことを体験的に学んでいきます。中学生ともなると、自意識が高まり、自分自身と向き合うようになります。そして、他者との関係性において、様々な葛藤や喜びを経験します。そのことを通して、つまり他者を通して、私たちは社会性を身に付け成長しているのだと思います。

自分とは異なる他者がいるから、鏡のように自分自身をそれにあてて、自分のことが分かったり、他者の素晴らしさを自分の中に取り込んだりすることができます。一方で、他者を理解することは難しいとも思います。自分とは異なる他者をどのように理解するのでしょうか。それには直接触れ合うこと、つまりコミュニケーション（情報と感情のやりとり）をしてみるのだと思います。まずは自分から自己開示をしてみるのだと思います。自分から声をかけてみることから始まるのだと思います。

そして、自分とは異なった他者との関係性を築いていく力は、生きていく上でとても重要であると思います。人を理解しようとして、異なった他者と自らコミュニケーションしていくことで、実は自分自身の心や考え方やものの見方を鍛え、自分を豊かにしていくことになるのだと思います。

学校は人が集まって一緒に学ぶところです。それは教職員も同じです。保護者も同じです。みんなで学んでいく場としての学校を一緒につくっていきましょう。



◆第70回 記念体育祭 大成功のうちに終了しました◆

学校創立70周年を記念する学校行事の第一弾として、第70回 体育祭が梅雨の間隙をぬって6月23日に実施されました。体育祭実行委員を中心に生徒が主体性を発揮し、創造性に溢れ、一体感が心地よい体育祭となりました。近隣の皆さま、地域・ご来賓の皆さま、保護者の皆さま、ご理解とご協力に感謝申し上げます。



3年生の修学旅行も充実していました

6月9日(金)～6月11日(日)の2泊3日で、広島・京都・奈良に修学旅行に行ってきました。台中の特徴である平和教育を盛り込んだ修学旅行として今年も充実したものとなりました。さまざまにご協力いただきました保護者の皆さま、ありがとうございます。



—国際平和スピーチコンテストについて—

今年も国際平和スピーチコンテストの港北区大会が実施されます。港北区の9校からそれぞれ代表生徒が集まり、その中の1名が本選会へ推薦されます。本選会で市長賞となりますとニューヨークの国連本部に横浜代表として派遣されます。本校では3年1組の中里 怜さんが学校代表になりました。

